

2021年12月23日（木）正午一斉解禁

—進化するTAAF2022—

# コンペティション部門 長編・短編アニメーション 《ノミネート全36作品を一挙に発表!!》

## 昨年度より新設された〈学生賞〉の受賞作品が決定!

平素より大変お世話になっております。この度、東京アニメアワードフェスティバル実行委員会及び一般社団法人日本動画協会は、国際アニメーション映画祭「東京アニメアワードフェスティバル2022(TAAF2022)」を、来年2022年3月11日(金)から3月14日(月)までの4日間、池袋にて開催いたします。

毎年、世界各国から優秀な作品が多数応募されるTAAFのコンペティション部門ですが、本年度の長編アニメーションは**27の国と地域**から応募された**31作品**(昨年22作品)より、**4作品**がノミネート。短編アニメーションは**57の国と地域**から応募された**874作品**(昨年817作品)より、**32作品**がノミネートになりました!

本年度のコンペティション部門には、昨年以上の作品の応募があり、コロナ禍で世界中が苦しんでいる中ですが、クリエイターたちは頑張っています!彼らが創ることで放出してくれるエネルギーを、ぜひ劇場で受け止めてください!!

### ～コンペティション部門・長編アニメーション～

本年度は、例年にも増して、それぞれがユニークです。手描き、ストップモーション、3DCGとアニメーションの手法も異なっていますし、小学生でも見られる作品から、暴力的なので大人の観客向きまで。観客のみなさんは、どれを観ても似たところがないので、それぞれの良さを堪能していただけたらと思います。審査員のみなさんはきっと苦勞されると思いますが……。

フェスティバルディレクター・竹内孝次

#### 「ボブ・スピットー人間なんてクソくらえー」(英題: Bob Spit - We Do Not Like People)

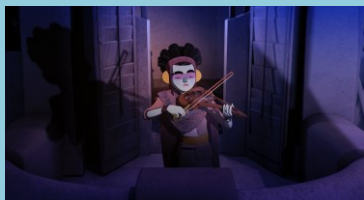


■監督: Cesar Cabral ■製作国: ブラジル  
■時間: 1時間30分 ■完成年: 2021年

##### 《フェスティバルディレクターからのコメント》

この映画はストップモーションですが、大人向け。とにかく、ボブ・スピットという主人公が強烈。自分の気に食わない奴は平気で殺す。凶器は、銃あり、ナイフあり。ボブを生み出したコミック作家が、作品中で自分を殺そうとしている。それを察知し、コミック作家の許を目指す。とにかく、主人公の放つエネルギーに圧倒されまくる映画です。

#### 「ケース」(英題: The Case)

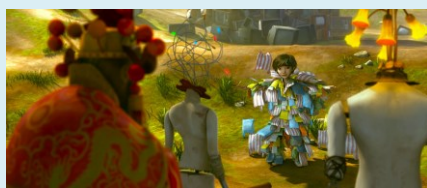


■監督: Maurizio Forestieri ■製作国: イタリア  
■時間: 40分 ■完成年: 2021年

##### 《フェスティバルディレクターからのコメント》

ユニークなデザインとこの世界全体の美しい緻密な作り込みに魅せられる。中東アジアのような雰囲気を感じるが、架空のどこかの街や港湾。戦火を逃れ、安全な地を目指して旅する人々。その中で主人公の若者は、バイオリンをいつも大事に携えている。40分強という中編ですが、TAAFでは中編部門がないので、敢えて長編にノミネートしております。

#### 「捨てられたものの街」(英題: City of Lost Things)



■監督: Yee Chih-Yen ■製作国: 台湾  
■時間: 1時間31分 ■完成年: 2020年

##### 《フェスティバルディレクターからのコメント》

現実の台湾が舞台という訳ではない。しかし、台湾らしい情景が上手く取り込まれて描かれており、良い意味の異世界感を生んでいる。物語は、使い捨てられたレジ袋とドロップアウトした少年の冒険談だ。しかしここでは、今の私たちの社会が抱える消費と再生の問題や、社会の中で孤立、疎外される、あるいはそう感じてしまう人々の悩みが語られている。

#### 「マード 私の太陽」(英題: My Sunny Maad)



■監督: Michaela Pavlátová ■製作国: チェコ、フランス、スロバキア  
■時間: 1時間21分 ■完成年: 2021年

##### 《フェスティバルディレクターからのコメント》

チェコの女性がアフガン人と結婚し、アフガニスタンに住むことになる。彼女が、イスラム教文化圏に初めて出会い、その考え方や暮らしに驚きながらも、夫との理解を深め、社会に馴染んで行く姿を描いて行く。西洋の考え方を一方的に披瀝するのではなく、アフガン人の考え方、それも複数の視点の異なる考え方があつて見せて行くのだが……。

★スロット1(子供を含む全世代向け)★

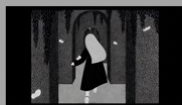
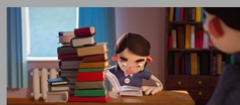
【11作品／製作国：日本、リトアニア、台湾、スイス、フランス、中国、フィリピン】

《フェスティバルディレクターからのコメント》

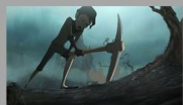
本年度はセリフのある作品が多くなってしまいました。しかし、たとえ文字スーパーが追いきれないお子さんであったとしても楽しめる作品が集っています。これを観たら元気になれる、爽やかな気分で過ごせる、そんな作品が多いです。撮影所の裏方で頑張っちゃう娘、クラブ活動で汗を流す娘、ガリ勉だったのにクラスの人気者になっちゃった娘、このスロットには、女性の主人公が多いですね。



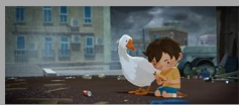
©2021 Mizuki Ito



©VVOOD & He Lo. All Rights Reserved.



©Imaginastudio Sarl



©Shanghai Animation Film Studio Co.,Ltd



©Zachary Conlu. All Rights Reserved.

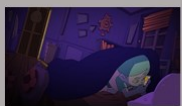


★スロット2(中学生くらいから)★

【11作品／製作国：日本、ベルギー、フランス、スイス、中国、韓国】

《フェスティバルディレクターからのコメント》

当たり前のことですが、映画的な作品が多いです。言葉での説明を極端に排除し、映像だけで観客の感覚に訴えようという作品が集まってしまいました。見ごたえがあり過ぎて、疲れてしまうかもしれません。どれも美しい絵作りで、「大画面で観てよかった！」と、きっと思ってもらえると思います。



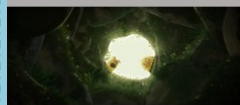
©2021 Japan Electronics College



©Creative Conspiracy 2020 All Rights Reserved.



©Kajjika Aki Ferrazzini



©Shanghai Chuangpu Digital Technologies, Ltd.



©Nicolas Pret



©2021. KM Areum. All Rights Reserved.

★スロット3(大人向け)★

【10作品／製作国：日本、フランス、ベルギー】

《フェスティバルディレクターからのコメント》

このスロットは「大人向け」です。人間の暗部をえぐり出した作品が複数あります。作品の中で問題を解決しているものもありますが、問題が問題のまま投げ出されているものもあり、それらがアニメーションで作られていることにより、より象徴的に問題を訴えかけて来るように感じます。大人でなければ見られない世界を覗いてみてください。



©Kazuki Sekiguchi All Rights Reserved.



© 2021 ISHIDATE Naoko & Tokyo University of the Arts.



ノミネート作品の詳細は以下より！

<https://animefestival.jp/ja/post/14920/>

【注意】©のある作品は、場面写真をご使用の際に必ず©を表記してください。

# TAAF2022「学生賞」が決定！！

(コンペティション部門・短編アニメーションに応募された日本の学生作品の中より)

※学生賞受賞作品はTAAF2022開催期間中に「スロット2」にて上映いたします。

## ★TAAF2022 学生賞★

### 「HIDE AND SEEK」(英題: HIDE AND SEEK)

■監督:ペク・ギュリ ■学校名:日本電子専門学校 ■時間:4分 ■完成年:2021年



© 2021. Japan Electronics College

#### 《あらすじ》

ある家族の殺人事件があった日の夜、家で変な気配を感じる。どうやら一人ではなさそうだ。

#### ペク・ギュリ Curie Baek

日本電子専門学校アニメーション研究科2021年卒業。



## TAAF2022 コンペティション部門 一次選考委員

### <長編アニメーション> ※五十音順・敬称略

- ・金子 学 (株式会社リスクット プロデューサー)
- ・コルピ・フェデリコ (株式会社ディー・ビジュアル 代表取締役)
- ・本多 史典 (株式会社プロダクション・プラスエイチ 代表取締役社長、アニメーションプロデューサー)

### <短編アニメーション> ※五十音順・敬称略

- ・うもとゆーじ (ウサギ王 オーガナイザー／アニメーションディレクター／ネットウオッチャー)
- ・川合 正剛 (日本工学院専門学校 クリエイターズカレッジ マンガ・アニメーション科／マンガ・アニメーション科四年制 教員)
- ・瀬口 泉 (アニメーター)
- ・中村 誠 (監督)
- ・深井 利行 (開志専門職大学 アニメ・マンガ学部 教授)
- ・藤吉 美那子 (株式会社トムス・エンタテインメント 制作本部 第5スタジオ プロデューサー)
- ・由水 桂 (株式会社ケイカ 代表取締役社長／監督)
- ・若見 ありさ (アニメーション作家／東京造形大学 准教授)

一次選考委員からのコメントは以下より！

<https://animefestival.jp/ja/award/competition/selectioncommittee>

## フェスティバルディレクター・竹内孝次



1976年に日本アニメーションに入社。

「母を尋ねて三千里」「あらいぐまラスカル」「未来少年コナン」「赤毛のアン」の制作に携わる。

1980年、テレコム・アニメーションフィルムに移籍。「名探偵ホームズ」「じゃりん子チエ」「ルパン三世」「リトル・ニモ」等テレコム作品の制作に携わる。

1990年代を中心に、ロスアンゼルスにも拠点をもち、ディズニー、ワーナー・ブラザーズ等との合作作業、カナダ、フランス、韓国等とも合作作品を展開する。元テレコム・アニメーションフィルム社長。

2013年アニメーション教育研究のためパリ・ゴブラン学校で学ぶ。

2011年より、アニメーションの人材育成にも意欲的に携わり、産官学連携事業の「アニメーション・ブートキャンプ」をディレクターとして東京藝術大学と共に実施しており、2015年より、同プログラムを日本のみならず、シンガポール、タイ、フランス等でも実施。

2020年には、本事業を行う団体として一般社団法人日本アニメーション教育ネットワークを立ち上げ、理事を務める。

2014年より2019年まで、文化庁事業・日本動画協会受託の「あにめたまご」のディレクターも務めた。

2016年より東京アニメアワードフェスティバルのフェスティバル・ディレクターを務めている。

# <東京アニメアワードフェスティバル2022 開催概要>

- 日程：2022年3月11日(金)～3月14日(月)
- 会場：東京・池袋
- 主催：東京アニメアワードフェスティバル実行委員会、一般社団法人日本動画協会
- 共催：東京都
- 事務局：東京アニメアワードフェスティバル実行委員会事務局  
(一般社団法人日本動画協会内)



## ■東京アニメアワードフェスティバル(TAAF)とは

2022年で9回目の開催となる東京アニメアワードフェスティバル(TAAF)は、2002年より「東京国際アニメフェア」の一環として行われていた「東京アニメアワード」を独立・発展させた国際アニメーション映画祭です。本フェスティバルは、「次世代のアニメーション制作を担う人材の発掘・育成等を行い、東京のアニメーション文化と産業の発展・振興を図ること」及び「東京の魅力を発信し、東京の観光振興に資すること」を目的とし、『東京がアニメーションのハブになる』を合言葉に、高いクオリティとオリジナリティに富む世界中の作品を東京で上映し、世界中のアニメーションを愛する人々との交流を図ること、クリエイターや観客に刺激と感動を提供すること、そしてその感動や刺激を糧にアニメーションの新たな波を東京から世界へ発信することを目指します。

## ■各アワードの紹介

### ◎コンペティション部門

広く国内外から、プロ・アマを問わず募集しています。60分以上の長編アニメーション、30分未満の短編アニメーションのそれぞれから「グランプリ」「優秀賞」他各賞を選出します。選考の柱となるのは、オリジナリティ、先進性、確かな技術、大衆性です。特に昨年度から短編部門内に創設された「学生賞」は、日本でアニメーションを学ぶ学生のための賞となります。会期中には劇場にて、ノミネート作品の数々を、国内外の制作者と共に楽しみいただけます。

### ◎アニメオブザイヤー部門

日本国内で上映・放送された作品の中から、アニメファンが選ぶ「アニメファン賞」、アニメ業界のプロが選ぶ『これは観ておきたい』と思う「作品賞」、『この人に注目してほしい』と思う「個人賞」が投票で選ばれます。

### ◎アニメ功労部門

アニメーション産業及び文化の発展に寄与した方々を顕彰するものです。アニメーションの技術、表現だけでなく、人材育成を含む教育活動、国際交流など、広くアニメーション産業の社会的地位の向上に貢献された方々に、この賞を贈呈いたします。

※TAAF2022の詳細は公式HPをご覧ください(公式HP: <https://animefestival.jp/ja/>)

## <報道各位からのお問い合わせ>

東京アニメアワードフェスティバル実行委員会事務局(一般社団法人日本動画協会内)

担当: 黒田E-mail: [press@animefestival.jp](mailto:press@animefestival.jp)

<プリマステラ> 貝塚千恵 090-9418-1101 [primastella316@gmail.com](mailto:primastella316@gmail.com)

※読者・視聴者からのお問い合わせは公式HPまで